



春日井のみなさんに
また見てもらえるなんて、
この上ない幸せです。

96歳セツの 新聞ちぎり絵 原画展

木村
セツ

大反響を呼んだ展覧会
3年ぶりに開催！

2025 4/25 [金] 5/25 [日]

文化フォーラム春日井・ギャラリー

開館時間＝10:00～17:00 (入場は16:30まで)

休館日＝月曜日 (月曜祝日の場合は翌平日休館)

入場料＝一般 500円 / PiPi (財団友の会)・障がい者 400円

小中高生 300円 [学特] 未就学児入場無料 ※前売券はございません。

主催・問合せ＝公益財団法人がすがい市民文化財団 TEL.0568-85-6868

監修・協力＝里山社 後援＝中日新聞社

3年前、大反響を呼んだセツさんの新聞ちぎり絵が帰ってくる！ みずみずしい表現力とユーモアにあふれた、元気がもらえる展覧会。

文化フォーラム春日井での「93歳セツの新聞ちぎり絵 原画展」から3年。最初に大規模個展を開催したこの地に、セツさんの新聞ちぎり絵が帰ってきます。89歳で夫を亡くし、2019年1月、90歳から新聞ちぎり絵を始めた、奈良県桜井市在住の木村セツさん。作品と人生の聞き書きを収録した初めての作品集『90歳セツの新聞ちぎり絵』は、大きな話題を呼び、現在までにこのジャンルの本では異例とも言える10刷を記録しています。

新聞ちぎり絵に出会ってから、「とにかく楽しい」とコツコツ手先を動かし続けているセツさんですが、創作活動を始めるまではずっと家族のために働きつづけてきました。戦前生まれで昭和を駆け抜け、いつも感謝とユーモアを忘れないセツさんの生き方こそ、創作意欲の源泉なのかもしれません。

本展では、最新作『96歳セツの新聞ちぎり絵 まいにち日めくり』の発売に合わせて、作品集の世界観をそのままに、ほぼ全点となる原画約140点をセツさんの言葉とともに展示します。思わずおながや空いてしまう熱々でジューシーなステーキ、さわやかな香りとともに初夏を感じる梅酒、なつかしい音が聞こえてくるようなラジオ…読み終わった新聞が、セツさんの観察力と豊かな色彩表現を通して、みずみずしい日常の風景に生まれ変わります。ちぎり絵を始めて約6年。ますます磨きがかかるセツさんの作品とほっとする言葉の数々を、ぜひ会場でお楽しみください。



木村セツ(きむら・せつ)

新聞ちぎり絵作家

1929年(昭和4年)1月7日奈良県桜井市生まれ。3人の子育てをしながら、養鶏、喫茶店、農業など仕事に励む。2018年末に夫を亡くし、2019年元旦から娘の勧めで新聞ちぎり絵を始め、才能が開花。孫がSNSで作品を発表すると、その作品の細かさ、鮮やかさ、作品のユーモラスな可愛らしさなどがたちまち話題に。既刊に『90歳セツの新聞ちぎり絵』『91歳セツの新聞ちぎり絵ポストカードブック』『94歳セツの新聞ちぎり絵日記』『96歳セツの新聞ちぎり絵 まいにち日めくり』(いずれも里山社)がある。



①



②



③

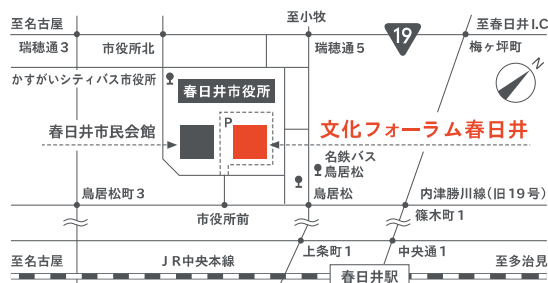


④



⑤

【表面】「ステーキ」2023年 【裏面】①「梅酒」2023年 ②「いちごパック」2023年 ③「ラジオ」2021年 ④「プリン・ア・ラ・モード」2024年 ⑤「雪を見るフクちゃん」2024年 全て©Setsu Kimura



- JR中央本線「春日井駅」北口より
- ・名鉄バス「鳥居松」下車すぐ
- ・徒歩20分
- ・無料レンタサイクル5分(日・祝休み)

- かすがいシティバスでお越しの方
- 「市役所」下車すぐ

- 駐車場無料

駐車場は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関や乗合せてお越しください。

公式X

96歳セツの新聞ちぎり絵

@setsu0107



公式Instagram

90歳セツの新聞ちぎり絵

@90setsu



公益財団法人

かすがい市民文化財団

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井
TEL:0568-85-6868 www.kasugai-bunka.jp